

第 8 次 吉 富 町 行 政 改 革 実 施 計 画

◆一般行政部門

1 事務事業の見直し関係 (1) 事務事業の整理合理化

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
1	継続	町税の口座振替の推進	徴収事務の効率化のため、引き続き口座振替を推進する。	税務課	45% 住民税 55% 固定資産税 25% 軽自動車税 55% 国保税	50% 住民税 60% 固定資産税 30% 軽自動車税 60% 国保税	55% 住民税 65% 固定資産税 35% 軽自動車税 65% 国保税	37% 住民税 51% 固定資産税 23% 軽自動車税 52% 国保税	毎月広報よしとみに「口座振替のお願い」を掲載し、窓口納付者に対して口座振替の呼びかけを行った。
2	継続	住宅使用料・保育料・後期高齢者医療保険料の口座振替の推進	収納率向上、納付事務効率化を図るため、引き続き口座振替を推進する。	福祉保険課 子育て健康課	93% (保育) 83% (住宅) 80% (後期)	94% (保育) 87% (住宅) 85% (後期)	95% (保育) 90% (住宅) 90% (後期)	100% (保育) 81.9% (住宅) 68.8% (後期)	保育：対象 76 件、口座振替 76 件 住宅：対象 83 件、口座振替 68 件 後期：対象 186 件、口座振替 128 件 保険料決定通知送付時に口座振替の勧奨通知を同封している。
3	継続	中津市医療機関受診料に対する助成方法の簡略化	国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入しているひとり親家庭・重度障害者医療受給者は、中津市医療機関を受診した場合、本人が医療機関に受診料を支払った後、役場で請求手続きを行い、受診料の助成を受けているが、被用者保険加入者	福祉保険課	導入	実施	実施	実施	令和元年度にシステムを導入し、令和元年 10 月分診療分から中津市医療機関で現物給付を実施している。

			と同様に、町が直接医療機関へ受診料を支払うように医療費助成制度の拡充を図る。						
4	継続	特定健診受診率の向上	特定健診受診率を向上させ、生活習慣病の重症化を予防し、医療費の抑制を図る。特に国保の受診率を向上させる。	福祉保険課	48%	50%	52%	36.5%	<p>令和2年度特定健診受診率は、36.5%（暫定値）で、令和元年度45.4%（確定値）から新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減る見込みである。</p> <p>令和元年度の福岡県の平均受診率は34.2%（確定値）であり、吉富町は県内10位と上位である。</p> <p>生活習慣病治療者の健診受診率が低いことから、医療機関との連携を強化し、受診率の向上を目指している。</p> <p>また、今年度から京築版糖尿病性腎症予防プログラムを活用し、重症化予防の取組みを強化している。</p>
5	継続	生涯学習事業の充実	住民ニーズや社会的な傾向を考慮した事業の実施に努め、生涯学習環境の整備・充実を図る。	教務課	実施	実施	実施	実施	<p>教室の選定にあたっては、他市町村の生涯学習教室の実施状況や、教室終了後に実施する受講者アンケートを参考にするなど、住民のニーズに応じた生涯学習教室の提供が図られるよう充実に努めている。</p>
6	継続	行政評価システムの推進	第4次総合計画後期基本計画の進捗管理として毎年、その施策の点検評価を行い、効率的な行政運営を推進する。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	<p>平成28年度から行政評価システムを導入し、第4次総合計画中期基本計画の事務事業や施策について点検・評価を行い、進捗状況など進行管理を実施している。</p> <p>令和元年度、新たに策定した総合</p>

									計画後期基本計画の進捗状況等について、12月に各事業の達成度や実施方法を評価のうえ、事業の継続性や必要性を検証し、PDCAによる改善策の検討や、次年度の計画や予算への反映などを行った。
7	継続	建設課所管 安全対策公 共施設維持 管理業務の 民間委託	以下の業務の民間委託等を検討する。 ①道路パトロール業務 道路パトロールの実施状況 ・町内道路の定例・随時パトロールを実施、主に危険・修繕必要箇所の把握・報告と、安全対策としての軽微な維持補修等を行う。 ②降雨時の町内水路ダンパーを自動転倒式ダンパーに改修することにより、職員配置の縮小化を検討する。	建設課	検討	検討	実施	検討	民間委託の方法及びダンパー（水路の水の調整施設）改修方法並びに設置箇所について検討した。

1 事務事業の見直し関係 (3) 補助金の整理合理化

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
8	継続	サンセット方式の推進	創設される補助金については、終期を設けるサンセット方式の導入を推進する。	総務財政課 全課	実施	実施	実施	実施	国県補助金等の動向や費用対効果を検討しながら、事業の見直しを行っている。(総務財政課) 令和3年度から移住定住の推進及び雇用の促進を目的として、奨学金の返還支援事業をサンセット方

									<p>式で実施する。(未来まちづくり課)</p> <p>老朽危険空家除却事業補助金が令和2年度末に期限が切れる。来年度以降、社会資本整備総合交付金を受ける予定としており、その年限とあわせた終期を設けたい。(住民課)</p> <p>エアコン購入費等助成金交付要綱(制定令和2年10月16日。終期令和4年3月31日)(福祉保険課)</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

2 組織・機構関係 (1) 時代に即応した総合的、機能的な組織・機構の見直し

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
9	継続	総合調整会議の開催	各課横断的な事業については、各課からの依頼に応じて随時開催する。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	<p>令和2年度開催回数 6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設使用料の見直しについて(8月21日、9月18日、10月20日実施) ・巡回バス路線の見直しについて(9月29日実施) ・宅地分譲用地売却事業について(11月6日実施) ・かわまちづくり事業について(12月16日実施)
10	継続	総合的な土地利用の推進	調和のとれた土地の利活用を推進する。	未来まちづくり課 建設課	実施	実施	実施	実施	<p>第4次吉富町総合計画に基づき「都市計画マスタープラン」を指針とした調和のとれた土地利用計画を推進している。</p> <p>未利用・低利用町有地の有効活用について関係課と協議し、宅地化に向け準備を行っている。(未来まちづくり課)</p> <p>狭あい道路整備計画に基づき、計</p>

									画的に実施している。(建設課)
1 1	継続	各種審議会等への女性委員の登用	男女共同参画社会の形成に向けて、各種審議会等への積極的な女性委員の登用を引き続き行う。	住民課 全課	30%	35%	40%	31%	令和2年4月1日現在の各種委員等における女性登用率は30.87%であり、その後の改選により12月1日時点での女性登用率は30.92%と増加した。今後も引き続き女性委員の登用を積極的に行う。(住民課) 令和2年9月30日任期満了により改選した教育委員に引き続き女性委員を登用したほか、各種協議会委員への女性の登用を積極的に行った。(教務課) 令和2年7月の農業委員の改選において、女性委員を1名登用した。(地域振興課)
1 2	継続	機構改革の検討	多様化・高度化する住民ニーズや地域課題に対応するため、より効率的・機能的な組織・機構の見直しを常に検討する。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	令和2年4月に事務の効率化による住民サービス向上をめざし、それまでの9課1局体制から10課1局2室とする大規模な機構改革を実施した。その効果や課題を十分に検証した上で、今後も必要に応じて見直しを検討していきたい。
1 3	継続	住民と行政の協働によるまちづくりの推進	住民主導の地域づくりを推進するため清掃、福祉、教育などの地域的な課題に取り組む町内の団体に対して、補助金を交付する。また、協働のまちづくりに必要な人材の育成、まちづくり団体同士が交流することのできる場や機	未来まちづくり課 全課	実施	実施	実施	実施	住民主導の地域づくりには、町に誇りや愛着を持つ「シビックプライド」の醸成が不可欠となるため、ボランティアの募集や住民参加型イベントの実施を推進した。(未来まちづくり課) 地域公共交通会議には、住民代表として自治会長会の会長、副会長、

			会の提供をする。					<p>民生委員児童委員協議会会長、寿会会長、よしみレディースと住民の代表に参加してもらい、住民のための公共交通についての意見をいただいている。</p> <p>清掃に関しては、ごみステーションを各自治会単位で管理していただくこととあわせ、設置に関するみ補助金を交付し、自主的な管理を促している。(住民課)</p> <p>○明るいまちづくり活動</p> <p>平成 22 年度から、町内の団体等が行う元気で明るいまちづくり活動に補助金(新規 100,000 円/継続 30,000 円)を交付し、住民の自主的活動促進と、住民と行政の協働によるまちづくりの推進を図っている。</p> <p>R2 年度…新規:1 団体/継続:4 団体</p> <p>○特産品開発事業</p> <p>町産業の活性化、ふるさと納税返戻品の充実化、町の魅力発信力の強化を図るため、令和 2 年度から町内事業者と協働による特産品開発事業を開始した。なお、開発から販路開拓に至る専門的な支援を民間事業者に委託している。(地域振興課)</p> <p>河川・道路愛護時のダンプトラックや軽トラック借り上げ燃料代として参加自治会に支払っている。</p> <p>また、公園清掃助成金を各自治会へ交付している。(建設課)</p>
--	--	--	----------	--	--	--	--	--

3 定員及び給与関係 (1) 定員管理の適正化

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
14	継続	定員適正化計画の推進	複雑・多様化する住民ニーズに応じて増大する業務を的確に遂行するため、スクラップアンドビルドを基本とし、適正な定員管理を行う。	総務財政課	76 職員数 (派遣職員除く)	76 職員数 (派遣職員除く)	76 職員数 (派遣職員除く)	74 職員数 (派遣職員除く)	令和元年度に実施した職員採用試験合格者1名が辞退した。また、採用試験後の退職申出が1名生じた。このことから計画に比べて2名不足している。令和2年4月1日在職職員数74人(派遣職員4名を除く)。
15	継続	定員管理の状況、数値目標の公表	定員適正化計画の目標数値や定員管理の状況を「町ホームページ」と「広報よしみ」で年1回、公表する。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	令和元年度の職員の定員管理の状況について、4月にホームページに掲載するとともに、同じ内容を6月号広報よしみに掲載した。

3 定員及び給与関係 (2) 給与の適正化

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
16	継続	職員給与の適正化	人事院勧告に準じた給与の適正化を図る。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	人事院勧告に沿って期末手当の0.05月引き下げを実施し、給与の適正化を図った。
17	継続	職員の給与状況の公表	職員の給与状況を「町ホームページ」と「広報よしみ」で年1回、公表する。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	令和元年度の職員の給与の状況について、4月にホームページに掲載するとともに、同じ内容を6月号広報よしみに掲載した。

4 職員の育成・確保関係 (1) 人材育成の推進

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
18	継続	職員研修の計画的実施	全体的な職員のスキルアップ及び意識改革を図るため、計画的に職員研修を実施する。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	福岡県市町村職員研修所への派遣研修の実施並びに本町独自の職員研修を実施した。 福岡県市町村職員研修所 23人 独自研修 研修名…タイムマネジメント研修 実施日…12月11日、16日 参加者…係長以下の一般事務職員

4 職員の育成・確保関係 (2) 多様な人材の確保

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
19	新規	多様な人材の確保	専門的分野の職種の職員も含めて、多様な人材の確保に努める。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	令和2年度職員採用試験においては、就職氷河期世代の採用として受験資格を45歳まで広げ、民間企業で広く利用されるSPI（総合適性検査）を試験に採用するなどして、多様な人材の確保に努めた。

5 行政の情報化等行政サービスの向上関係 (1) 窓口等における対応の改善と行政サービスの総合化

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
20	継続	総合的サービス提供体制の推進	住民サービスの向上及び住民の立場に立ったサービスの推進を図る。	未来まちづくり課 全課	実施	実施	実施	実施	住民課で異動がある時は、関係機関に対し、声かけをしてもらい、防災行政無線等手続きを住民課の窓口で行い、ワンストップサービスを実施している。 (未来まちづくり課)

									<p>転出入の際に、学校関係の事務手続きの必要性についても住民課職員に依頼し、対象者へ声かけをしてもらうなど、日常業務の中で常に住民の立場に立ったサービスに心掛けている。(教務課)</p> <p>住民の利便性の向上のため、令和3年度からのコンビニ、スマホによる収納業務の事前準備を行った。(検査会計室)</p> <p>吉富町地域包括支援センターの事務所を令和2年4月1日から住民福祉センターひだまりに移設し、同施設内に事務所のある吉富町社会福祉協議会とお互いが実施する介護予防事業に参加するなど連携が図られた。本町の地域包括ケアを推進する上で、更なる連携を図るため、令和3年4月から地域包括支援センター業務を社会福祉協議会に委託する。(福祉保険課)</p> <p>来訪者には素早く応接し要件を確認したうえで担当課職員につながるとともに、道路・水路・水道・下水など一連の間合せが多いが共通の窓口で対応が可能となっている。(上下水道課)</p>
21	継続	利用しやすい庁舎環境の整備	多様化する利用者の利便性を考慮し、より快適で利用しやすい環境を整備する。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	<p>令和2年4月1日からの機構改革実施にあたり、住民が利用しやすい課の配置をし、また、住民が座って、落ち着いて諸手続きができるよう、ほとんどの窓口をローカウンタ</p>

									一に改修した。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---------

5 行政の情報化等行政サービスの向上関係 (2) インターネットの活用

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
22	継続	ホームページの内容の充実及びSNS等の新たな情報伝達手段の活用	インターネットを積極的に活用し、行政サービスの向上及び様々な伝達手段による情報の提供に努める。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	ニーズに応じた情報提供を行っている。旬のページを随時更新し、イベント等をホームページとSNS上で広く周知している。 特に「町長の動き」のコーナーでは、その日にあった行事など紹介することで開かれた行政の推進も図っている。 また、新たなツールとして、KBCとテレビ番組内でのdボタンを活用した文字による情報発信を準備中。

5 行政の情報化等行政サービスの向上関係 (3) 情報システムやネットワークの活用

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
23	新規	全庁的な情報システムの見直し	行政サービスの向上、事務の効率化を図るため、情報の取り扱いに関するセキュリティに十分配慮するとともに、導入・改修・保守等に要する経費を検証し、全庁的な情報システムの見直しを行う。	総務財政課	検討	準備	実施	準備	令和3年8月の更新に向けた全庁的な情報システムの見直しに際し、コスト削減や費用対効果等に重点を置き、対応可能業者を選定した。結果、前回更新時より低い経費で更新ができる見通しとなった。

6 公正の確保と透明性の向上関係 (1) 行政手続の適正化

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
24	継続	行政手続制度の整備・公表	行政手続法及び行政手続条例に基づく申請・処分に対し審査基準・標準処理期間等の制定・見直しを行い、公表する。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	行政手続法及び行政手続条例に基づく申請・処分に対する審査基準・標準処理期間のマニュアルにより、今後も本制度の充実に努める。

6 公正の確保と透明性の向上関係 (2) 情報公開の推進

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
25	継続	情報公開の推進	「情報公開を求められる前に、進んで情報を提供する」という意識を持ち、積極的な情報提供に努め、町政の透明性を高める。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	<p>情報は原則公開の精神に立ち、個人に関する情報がみだりに公にされないよう最大限の配慮をしつつ、積極的な情報公開に努めている。</p> <p>過去5年の情報公開制度の取り扱い件数</p> <p>平成28年 2件 平成29年 1件 平成30年 0件 令和元年 14件 令和2年 0件 (1月末現在)</p>

6 公正の確保と透明性の向上関係 (3) 個人情報保護の推進

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	

26	継続	個人情報保護の推進	マイナンバー法や吉富町個人情報保護条例に則し、個人情報保護の適切な措置や適正な運用を図る。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	個人情報の適正な取り扱いの確保と町が保有する自己に関する個人情報の開示、訂正及び利用停止を求める権利を保障することにより、個人情報保護の推進に努めている。 過去5年の個人情報開示の取り扱い件数 平成28年 0件 平成29年 0件 平成30年 2件 令和元年 2件 令和2年 0件 (1月末現在)
----	----	-----------	---	----------	----	----	----	----	---

6 公正の確保と透明性の向上関係 (4) 文書の適正管理

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度(2019年)	2年度(2020年)	3年度(2021年)	令和2年度(2020年)	
27	継続	文書の適正管理	情報公開の効果的な推進を図るため、保存文書の縮減を行い、文書の適正管理に努める。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	文書整理保存規程に基づき、保存年限を経過したものは適切に廃棄するなど文書の適正管理に努めている。また、保存年限を経過した文書等の公文書館への移管を推進している。

7 経費の節減合理化等財政の健全化関係 (1) 経費全般についての節減合理化と予算の厳正な執行

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度(2019年)	2年度(2020年)	3年度(2021年)	令和2年度(2020年)	
28	継続	事務消耗品の単価入札の実施	比較的大量に購入される事務消耗品について、単価入札を実施する。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	令和2年度もファイルなど大量に購入する事務用消耗品の主要48品目の単価入札を実施した。入札による最低価格の購入から経費の削減に繋がっている。

29	継続	経費全般について節減合理化と予算の厳正な執行	OA機器を含め消灯、電源OFFを推進すると共に、ランニングコスト(維持管理費)に配慮したOA機器、設備への移行を検討し、経費の削減に努める。	総務財政課 全課	実施	実施	実施	実施	長時間離席時のパソコン電源OFFの徹底を行っている。また、パソコン以外のOA機器の電源についても、常時立ち上げておく必要のあるものを除き、必ず電源を切るように徹底し、日常的に経費の削減に努めている。
30	継続	分かりやすい財政状況の公表	法で定められた財政事情とは別に、独自の様式で町の財政状況を分かりやすく、年に2回公表する。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	広報よしとみで6月・11月に公表をしている。用語解説や家計簿への置き換え等を交え、分かりやすい表現に努めている。
31	継続	公共施設の管理及び事務事業の指定管理者・民間委託・民営化への再検討	公共施設の管理及びすべての事務事業について、民間委託等を検討し、住民ニーズに対応した財源や人員の配分を行う。	未来まちづくり課 総務財政課 全課	実施	実施	実施	実施	<p>効率的な施設運営を目的として、民間資金等活用事業(PPP)や官民連携事業(PFI)の導入を推進した。(未来まちづくり課)</p> <p>役場庁舎、防災倉庫、消防車庫兼詰所は、一般利用がないため町で管理を行っている。(総務財政課)</p> <p>●ふるさとセンター 平成7年にJR吉富駅の駅舎として建設し、駅の無人化に伴い、平成26年8月から商工会に管理を委託している。</p> <p>●漁村センター 平成13年に漁業集落地区住民の交流の拠点として建設し、平成18年から指定管理者制度を導入、喜連島上区・下区、高浜地区で管理している。(代表:喜連島下区) (地域振興課)</p> <p>民間委託の方法並びにダンパー(水路の水の調整施設)改修方法並</p>

									びに設置箇所について検討した。 (建設課)
32	継続	公共施設の照明器具のLED化	公共施設の照明器具にかかる電気代経費削減のため、LED化した場合のランニングコストを検証し、効果の大きい施設からLED化設備への移行を行い、経費の節減に努める。	全課	実施	実施	実施	実施	<p>フォーユー会館に新たに設置した外灯については、電気代経費削減のため、LED照明を採用して設置した。(教務課)</p> <p>令和2年度に、役場旧庁舎側に設置されている照明設備については、令和3年3月中にはLED機器に更新されたことにより、経費削減に繋がった。(総務財政課)</p> <p>LED化にあたっては、電球のみを交換するだけでなく、機器の変換を行うことが必要であるため、各施設に応じて検証し、ランニングコストが安価になる場合は、随時LED化を検討していく。</p> <p>町内の防犯灯については経費面、照度面等を考慮し、新設及び器具修繕が必要となったものから、順次LED照明への交換を実施している。 (建設課)</p>
33	新規	吉富町住民福祉センターの指定管理者導入の検討	<p>吉富町住民福祉センターの管理及び事務事業について、指定管理者の導入を検討する。</p> <p>※ 令和2年10月1日より「吉富町老人福祉センター」を「吉富町住民福祉センター」に名称変更。</p>	福祉保険課	検討	検討	決定	検討	<p>住民福祉センターひだまりの指定管理者については、吉富町社会福祉協議会を念頭に検討を進めている。</p> <p>本年度は地域包括支援センターの業務委託について協議が整ったので、来年度、指定管理について協議を進める。</p>

34	新規	よしとみ皇后石研修センターの用途廃止の検討	稼働率が極めて低い状況にあるよしとみ皇后石研修センターについて、施設の譲渡や取り壊しを含めた用途廃止を検討する。	教務課	検討	検討	決定	実施	皇后石研修センターの建物健全度が高かったこともあり、憩いのやかたの機能の一部を皇后石研修センターに移行することとして、令和2年度は囲碁グループの活動拠点を移行したことで、稼働率は急激に向上した。
----	----	-----------------------	--	-----	----	----	----	----	---

7 経費の節減合理化等財政の健全化関係 (2) 税収納率の向上等自主財源の確保

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度(2019年)	2年度(2020年)	3年度(2021年)	令和2年度(2020年)	
35	継続	住宅料・保育料・後期高齢者医療保険料の長期滞納者への徴収強化、収納率の向上	催告書の発送を年2回行うとともに、口座振替の勧奨、電話催促を随時行う。	福祉保険課 子育て健康課	実施	実施	実施	実施	長期滞納者に対しては、年2回(4月、12月)の催告書の発送、電話催促に加え、状況に応じて臨戸徴収の実施や誓約書を徴すなど、計画的な支払いを促している。(福祉保険課) 年2回の催告書の発送、電話催促に加え、状況に応じて児童手当からの納付誓約書を徴するなど、計画的な支払を促している。(子育て健康課)
36	継続	「町ホームページ」及び「広報よしとみ」に広告掲載	「町ホームページ」及び「広報よしとみ」に有料広告の掲載募集をする。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	ホームページについては、有料広告は7枠あり、今年度2件の新規申請があり4枠が埋った状況となっている。 広報よしとみは2件申請あり。
37	継続	定住化促進制度の充実	定住化促進制度について、ニーズを把握しながら、町内への定住を促進する魅力的で効果的な制度の実施を検	未来まちづくり課 全課	実施	実施	実施	実施	地方創生総合戦略の基本目標に掲げ、関係課での移住・定住誘導を目的とする事業実施により、町への人口定着を図っている。 奨学金返還申請を対象とした

			<p>討し、継続する。</p>					<p>新たな定住化制度を検討し、令和3年度実施に向けた準備を行った。(3月議会上程)</p> <p>(未来まちづくり課)</p> <p>保護者の経済的負担を軽減し、教育の充実及び子育て支援の拡充を図るため、令和元年10月1日から小学校の給食費に要する経費の一部補助を開始し、令和2年度も継続して行った。(教務課)</p> <p>今年度初めて税務課と協力し、町外者に向けて空家バンク等のチラシを同封し、町外在住の固定資産所有者に対し周知を図った。(住民課)</p> <p>●定住化奨励金</p> <p>令和2年度(1月末まで)に20件の新規申請受付、認定を行った。このうち転入者は50名(県内28名、県外22名)となっている。新婚家庭新生活応援補助金の受給者がそのまま家を新築する流れも生まれつつあり、町への定住者の増加に寄与している。</p> <p>●新婚世帯応援補助金</p> <p>令和2年度(1月末まで)に14件の新規申請受付、交付決定を行った。このうち転入者は25名(県内12名、県外13名)となっている。平成28年度の制度開始から現在まで97組の申請があり、このうち9世帯が町内に家を新築、</p>
--	--	--	-----------------	--	--	--	--	--

									39件の出生があった。 (地域振興課)
38	継続	企業立地の促進	吉富町企業立地促進条例に基づく優遇措置をPRし、中小企業にも配慮した企業立地を促進する。	未来まちづくり課	実施	実施	実施	実施	第4次総合計画の主要施策に掲げ、事業者等の誘致の推進を図っている。 サテライトオフィス事業に取りかかっており、数社の誘致が見込める状況である。
39	継続	町有地の処分、貸付等による有効活用	未利用町有地について、売却及び貸付けなどの活用を図る。	未来まちづくり課 総務財政課	実施	実施	実施	実施	第4次総合計画の主要施策に掲げ、未利用町有地の活用および宅地開発の推進を図っている。 また、建設課と協力し公募型プロポーザル方式による売却事業を準備中。(未来まちづくり課) 現在、2件について、民間への賃貸借を実施しているが、令和2年度の新規貸付・処分の町有地はない。 令和2年4月に福岡県から払い下げを受け、町の普通財産となった直江の旧県営住宅跡地を含めた売却可能な未利用町有地については、令和2年度に総合調整会議を開催し、売却等にあたり関係課も含め協議を行った。(総務財政課)
40	継続	ふるさと応援寄附金制度の拡充	ふるさと応援寄附金について、寄附額の増額を図る。	未来まちづくり課	検討	実施	実施	実施	令和2年7月から「ふるさと納税受付サイトのさとふる」を利用して返礼品提供を開始し、寄附額が大幅に増加した。今後も利用するポータルサイトを増やして、更

									なる寄附額の増加を図る。併せて、新たに企業版ふるさと納税を開始した。 令和元年度：2,662,000円 令和2年度：19,236,000円 (令和3年2月15日現在)
41	新規	使用料、手数料の見直し	各種施設、サービスの使用料、手数料について、全面的な見直しを行う。	総務財政課	検討	実施	実施	実施	各施設の原価(コスト)を算定し、受益者の負担割合や近隣の状況等を考慮したうえで、各施設の使用料の見直しを行った。
42	新規	基金の運用方法の見直し	町が保有する基金について、管理及び運用方法について見直しを行う。	総務財政課 検査会計室	検討	検討	実施	実施	財政計画に基づき、標準財政規模程度の基金の確保ができるよう、取崩と積立を行っているが、運用方法については検討中である。(総務財政課) 基金定期預金7本の利率見直しを実施した。(検査会計室)

8 会館等公共施設関係 (1) 既存施設の有効活用

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
43	継続	吉富あいあいセンターの充実と有効活用	赤ちゃんから高齢者の健康づくりの拠点・相談窓口として、有効活用する。	子育て健康課	実施	実施	実施	実施	母子保健では、「吉富町子育て世代包括支援センター」を中心に、各種事業を実施している。常時、妊婦や子供の成長発達等について助産師、保健師が相談に応じる体制をとっている。また、今年度より月に1回妊産婦・子育て相談日を設けている。 こころとからだの健康相談を

									毎週月曜日に実施しており、こころの相談窓口としても定着している。 高齢者の健康づくりは、地域包括支援センターと連携を図り相談に対応している。
44	継続	子育て支援センターの充実	常時使用していない部屋を雨天の遊び場として利用するほか、必要時に障害児支援や、落ち着いて自学学習（宿題）する部屋として利用するなど施設の全ての部屋を有効に活用する。	子育て健康課	実施	実施	実施	実施	常時プレイルームとして開放している部屋のほかは、毎月のイベント（絵本の読み聞かせ、リトミック、英会話等）で使用したり、放課後児童クラブの子どもたちが雨天時や酷暑時の遊び場として利用し、積極的に有効活用推進をしている。

10 広域行政関係 (1) 広域的な行政体制の強化

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度(2019年)	2年度(2020年)	3年度(2021年)	令和2年度(2020年)	
45	継続	広域的連携の活用	広域的な見地に立って企画、調整又は処理することが適切な事務事業については、広域連携を図る	未来まちづくり課 全課	実施	実施	実施	実施	令和2年度から、築上町から豊後高田市までが加入する九州周防灘地域定住自立圏に本町も参加した。これにより、より一層広域連携を図ることが可能となった。 北九州市を中心とした17市町による「北九州都市圏域連携中枢都市圏への加入を準備中であり令和3年度より加入予定である。 (未来まちづくり課) 学校教員の働き方改革により、ICTの活用による業務改善に係る統一的なシステムの導入に向けて、豊築市町の教育委員会及び学

								<p>校関係者が連携して調整した結果、本町においても統一して取り組んだ校務支援システムの導入が完了した。(教務課)</p> <p>公共交通の分野については、令和2年度から定住自立圏構想に基づき、コミュニティバス豊前・中津線に参加し、住民の移動手段の確保ができた。(住民課)</p> <p>京築連帯アメニティ都市圏推進会議をはじめ各種会議や協議会において、京築地区、北九州市、その他近郊地域で連携し、広域で商業振興、観光振興、誘客・移住定住促進、文化継承など地域活性化に取り組んでいる。(地域振興課)</p> <p>一人暮らし高齢者等が緊急事態に陥った時に緊急通報端末を用いて消防署に事態を通報し、救急車の手配等を迅速に行うことができる高齢者安心提供システムを豊築4市町で共同構築し実施している。(福祉保険課)</p> <p>広域的な道路については、関係市町と連携を取って道路計画を策定する。(建設課)</p> <p>水道事業について、京築地区水道企業団の関係団体と運営状況に応じて広域的連携を図るよう努めている。</p> <p>例年福岡県や北九州市において</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--

									開催される広域連携の勉強会にも参加していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止により中止となった。 現在福岡県が策定中の福岡県水道広域化推進プランに基づき地域の水道事業も広域連携を図ることで調整中である。(上下水道課)
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

1 1 行政改革推進状況の点検

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
46	継続	行政改革推進委員会による点検	行政改革の実施状況について、引き続き、毎年1回、行政改革推進委員会により点検・評価を行う。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	毎年、年1回年度末に行政改革推進委員会により点検・評価を行い、行政改革の確実な実行に努めている。
47	継続	行政改革実施状況の公表	行政改革の実施状況について、引き続き、毎年1回、町ホームページ及び「広報よしとみ」で公表する。	総務財政課	実施	実施	実施	実施	令和3年3月に町ホームページで公表し、同じ内容を令和3年5月号の広報よしとみで公表する。

◆公営企業部門

1 事務事業の見直し関係 (1) 事務事業の整理合理化

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
1	継続	下水道接続率向上のための取組み	処理場見学会、地元説明会、排水設備説明会を開催し、水洗化普及活動を通して下水道接続率の向上を図る。	上下水道課 下水道事業	6回	6回	6回	7回	地元説明会6回、ふれあいサロンにて普及促進を1回、計7回の説明会を実施した。

4 職員の育成・確保関係 (1) 人材育成の推進

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
2	新規	職員の技術力アップ	上水道の安全・安心の確保と下水道事業計画早期完成に向けて、技術研修を履修する。 また、企業会計経理を理解するため複式簿記研修を履修する。	上下水道課 下水道事業	実施	実施	実施	実施	技術研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施されず、参加することができなかった。 企業会計経理については、複式簿記研修へ1名、下水道経営セミナーへ1名参加し、延べ2名が研修を履修した。

5 行政の情報化等行政サービスの向上関係 (2) インターネットの活用

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
3	継続	ホームページ 内容の充実	水道事業に関する 必要な情報の更新	上下水道課 水道事業	月1回	月1回	月1回	月1回	水道水質検査結果や給排水工事 指定店名簿、凍結防止対策に係る記 事を掲示した。

7 経費の節減合理化等財政の健全化関係 (1) 経費全般についての節減合理化と予算の厳正な執行

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
4	新規	水道施設の見 直し	別府浄水場の廃 止の検討	上下水道課 水道事業	検討	検討	決定	検討	別府浄水場はリスク対応の面で 有効なため存続の方向で考えてい るが、現在委託にて行っている送水 施設基本設計業務にてその有効性 の再検討を行い、方向性を決定した い。
5	新規	水道施設の見 直し	幸子浄水場から 配水池へ直接送水 の検討	上下水道課 水道事業	検討	検討	決定	検討	水道施設の課題やランニングコ スト等を整理し、現在委託中の送水 施設基本設計業務にて基本的な統 廃合の方向性を決め、令和3年度に は施設の統廃合に係る費用算定の ための実施設計を行う。

7 経費の節減合理化等財政の健全化関係 (2) 税収納率の向上等自主財源の確保

番号	区分	項目	実施概要	所管課	実施計画			実施状況	進捗状況
					令和元年度 (2019年)	2年度 (2020年)	3年度 (2021年)	令和2年度 (2020年)	
6	継続	公共下水道の整備による定住化の促進	公共下水道の整備面積は、各年度7haを目標として推進する。	上下水道課 下水道事業	7ha	7ha	7ha	8ha	幸子古、別府、土屋、広津上区において面整備工事を行った。
7	継続	上水道への加入促進	安心・安定的な上水道への加入促進を行い、水道事業の円滑な実施を図る。	上下水道課 水道事業	30戸	30戸	30戸	21戸	安心・安定的な上水道の普及促進のために本管未布設地域での本管拡張工事や、井戸水の水質検査についての問合せの際には水道の利用を呼びかけるなど、その普及促進を図った。